

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
米子市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	ふるさと・キャリア教育の地域学習において、新たな地域人材や地域課題の教材研究が必須である。しかし、地域を知らない教職員が教材研究をすることは大変な時間を要し、教職員の負担となっている。	地域学校協働活動推進員をすべての小学校(23校)への配置を目指す。推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、地域人材・教材研究の情報収集等に協力し教員の教材研究を支援する。	地域学校協働活動推進員の教材研究支援により、教員の教材研究の負担を軽減する。また、地域や社会で起こっている問題や出来事を取り扱う授業で地域人材開拓や地域課題の教材開発ができる。	・CSポートフォリオ(米子市版)のアンケートで、地域人材の活用や地域学習を進める上で「負担が減った」「どちらかと言えば負担が減った」と回答する教職員の割合 ・地域人材の登用や地域を題材とした学習に「取り組んだ」と回答した教職員の割合					
米子市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	ふるさと・キャリア教育の地域学習において、新たな地域人材や地域課題の教材研究が必須である。しかし、地域を知らない教職員が教材研究をすることは大変な時間を要し、教職員の負担となっている。	地域学校協働活動推進員をすべての中学校(10校)への配置を目指す。推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、地域人材・教材研究の情報収集等に協力し教員の教材研究を支援する。	地域学校協働活動推進員の教材研究支援により、教員の教材研究の負担を軽減する。また、地域や社会で起こっている問題や出来事を取り扱う授業で地域人材開拓や地域課題の教材開発ができる。	・CSポートフォリオ(米子市版)のアンケートで、地域人材の活用や地域学習を進める上で「負担が減った」「どちらかと言えば負担が減った」と回答する教職員の割合 ・地域人材の登用や地域を題材とした学習に「取り組んだ」と回答した教職員の割合					